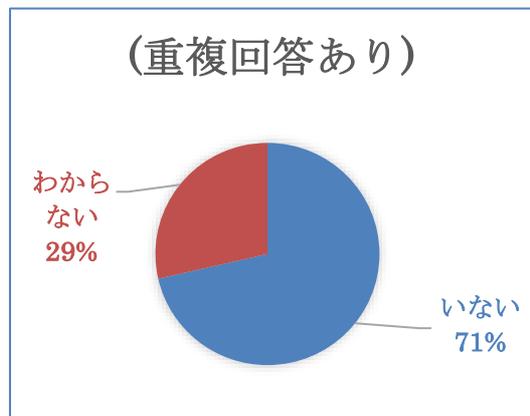


## ～若年性認知症アンケートより～

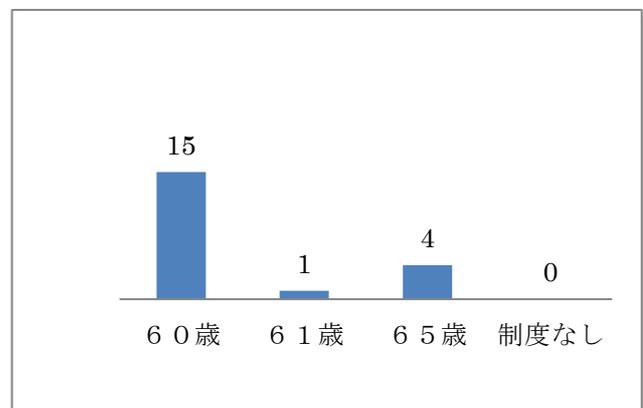
2021年8月に中丹東保健所管内の従業員100人以上の企業・事業所を対象に若年性認知症に関するアンケートを実施しました。

管内の35企業・事業所に依頼し、20企業・事業所から回答をいただきました。  
結果については下記のとおりです。

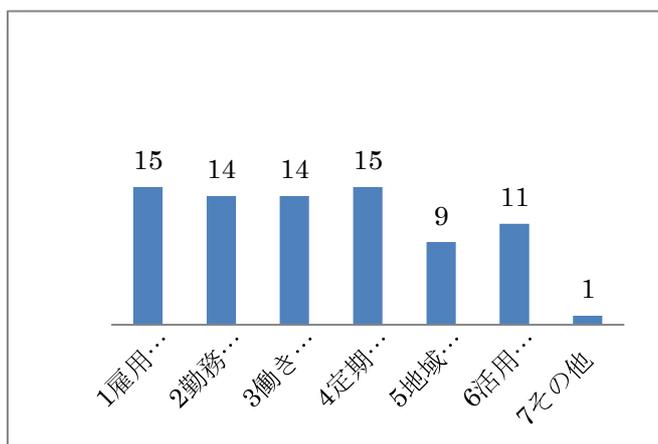
\*職場に若年性認知症を患っておられる方  
または以前に患っておられた方はいますか



\*定年は何歳ですか



\*職場に若年性認知症の方がおられた場合どのような支援ができると思われますか



- 1 雇用形態を変更する
- 2 勤務形態を変更する
- 3 働きやすい部署へ配置転換する
- 4 定期的に面接を行い、不安の軽減を図る
- 5 地域の相談窓口を提供する
- 6 活用できる制度について情報提供する
- 7 その他（周囲等が正しい理解を図る取組）

この結果から、若年性認知症の正しい理解についての啓発活動にも、取り組んでいきたいと思えます。

## ～オレンジロードつなげ隊の啓発活動～

\*在宅医療映画上映会（綾部市）での啓発状況

令和3年11月13日（土）、綾部医師会主催の映画上映会「結びの島」において、認知症の啓発活動をしました。



# ～アルツハイマー一月間の取り組み～

## \* 京都府中丹東保健所での取組



## \* 京都府舞鶴庁舎での取組



## \* 京都府綾部庁舎での取組



## オレンジロードつなげ隊 隊員紹介 9



私は、西舞鶴にある「グループホーム 真愛の家恵の里」という介護事業所に勤務しています。日々の仕事を通じて、人生の先輩である認知症の人々の支援に携わらせていただく中で、その人らしいしぐさや、いろいろな気づきを与えてくださっています。

今年度からオレンジロードつなげ隊の一員となりましたが、コロナ禍で啓発活動に参加できず本当に残念です。コロナが終息した後は、活動を通じて、認知症になってもその地域でその人らしく安心して暮らせる地域づくりのお手伝いができればと思っています。



私は、中舞鶴の「やすらぎ苑余部の家」という小規模多機能型居宅介護施設で勤務しています。

認知症になっても、住み慣れた地域の中で安心して生活を送っていただけるような助けをしたいと日々考えています。

介護に携わっている中で、認知症の方との関わり方について学ぶことがたくさんあります。一人でも多くの方に認知症について知ってもらうにはどうすれば良いか等、まだまだ課題を抱えている中ですが、オレンジロードつなげ隊の新隊員として一緒に成長していきたいと思っています。

### - 編集後記 -

今年はこのほか雪が多いですね。北部に住んでいると当たり前の光景ですが、やっぱり雪かきはしんどいですね。春になれば溶けてなくなるのに・・・。

私たちオレンジロードつなげ隊は、認知症になっても住み慣れた地域で生活でき、当事者の方の希望が叶えられるような社会づくりの一助になればと活動しています。

降る雪と同じように、そんな社会が当たり前になればいいですね。

《 編集担当班 》

発行：中丹東オレンジロードつなげ隊

【事務局】

京都府中丹東保健所  
保健課

中丹東地域包括ケア推進ネット  
中丹東オレンジロードつなげ隊

心でつなく、地域でつなぐ  
“認知症”

認知症になっても安心して暮らせる  
社会の実現をめざしています